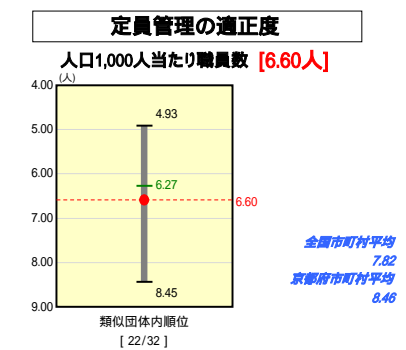
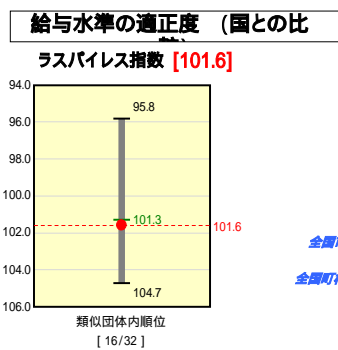
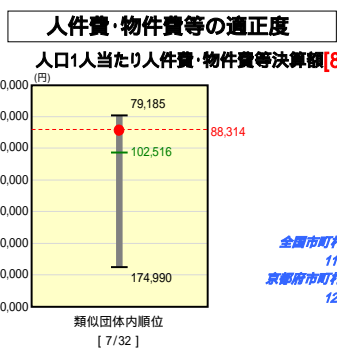
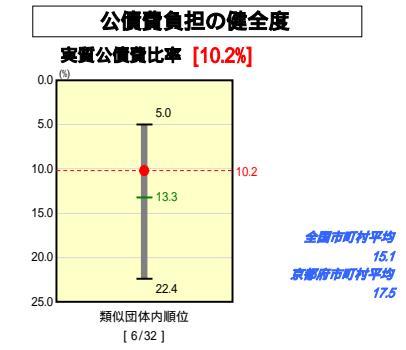
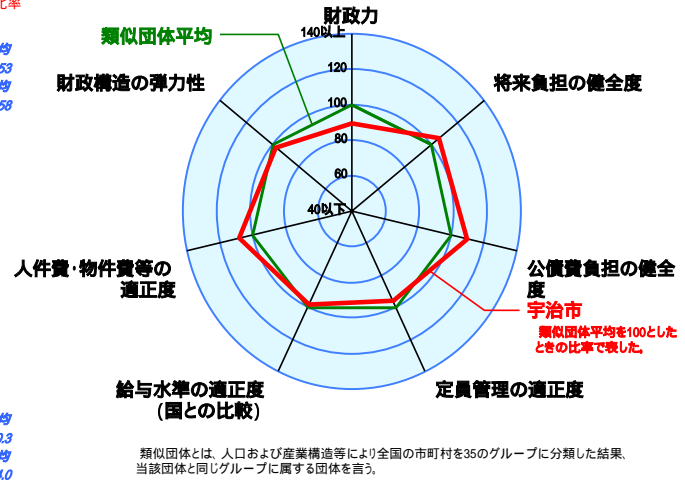
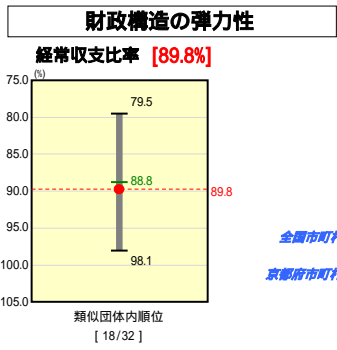
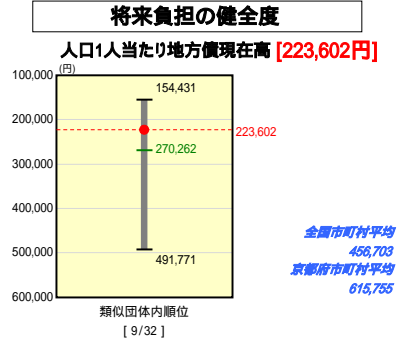
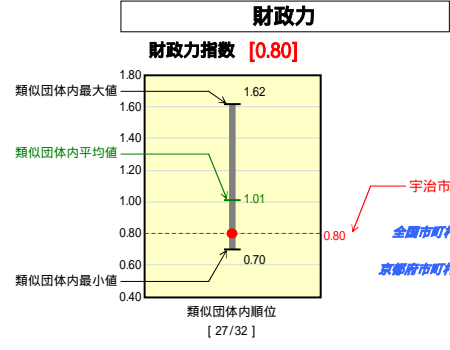


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

京都府 宇治市

人口	189,737	人(H19.3.31現在)
面積	67.55	km ²
歳入総額	51,952,724	千円
歳出総額	51,160,245	千円
	401,124	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力(財政力指数)】
 税収等の収入の伸びにより、平成17年度より若干の回復がみられたものの、未だ類似団体内平均値より大幅に低い値となっており、税収収率の向上等により収入の確保・税財政基盤の強化等にさらに努めていくとともに、人件費や公債費の抑制等、歳出の見直し等に取り組んでいきます。

【財政構造の弾力性(経常収支比率)】
 扶助費の伸び等により、平成17年度から若干悪化して類似団体内平均値より高い値となっているため、定員管理計画等により人件費の削減を図るなど、行財政改革への取り組みを通じてさらなる義務的経費の削減を図り、経常収支比率の適正化に努めていきます。

【人件費・物件費等の適正度(人口1人当たり人件費・物件費等決算額)】
 従来から取り組んでいる義務的経費等の削減により、類似団体内平均値より低い値となっており、引き続き今後最歳出の適正化に努めていきます。

【将来負担の健全度(人口1人当たり地方債現在高)】
 健全財政を堅持するために市債の発行は抑制しており、類似団体内平均値より低い値となっています。引き続き適正な市債の発行に努めていきます。

【公債費負担の健全度(実質公債費比率)】
 実質公債費比率についても類似団体内平均値より低い値となっています。健全財政を堅持するため、引き続き適正な市債の発行、債務負担行為の設定に努めていきます。

【定員管理の適正度(人口1,000人当たり職員数)】
 一定の職員数削減の取り組みを続けてきたものの類似団体内平均値よりも高い値になっており、定数管理計画に基づいた民間活力の活用等を図り一層の効率化に努めていきます。

【給与水準の適正度(ラスパイレース指数)】
 一定の人件費削減の取り組みを続けてきたものの類似団体内平均値よりも高い値になっており、人件費については引き続き適正化に努めていきます。